平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場会社名　エコナックホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　3521　URL　http://www.econach.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 奥村英夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長　(氏名) 菅原　勲　TEL 03-5712-2311

四半期報告書提出予定日　平成23年11月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	467	8.4	32	742.7	60	72.0	50	80.3
23年3月期第2四半期	431	20.0	3	―	35	―	28	―

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　57百万円　(105.0%)　23年3月期第2四半期　28百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	0.71	―
23年3月期第2四半期	0.40	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,096	3,373	76.7
23年3月期	4,079	3,321	75.8

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　3,143百万円　23年3月期　3,093百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	―	―	0.00	0.00
24年3月期	―	―			
24年3月期(予想)			―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	940	3.4	50	282.0	80	12.5	75	16.1	1.05

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) ― 、 除外 ―社 (社名) ―

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	71,177,466 株	23年3月期	71,177,466 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	31,482 株	23年3月期	30,682 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	71,146,492 株	23年3月期2Q	71,147,168 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報…… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報…… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報…… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報…… 2
２．四半期連結財務諸表…… 3
（１）四半期連結貸借対照表…… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書…… 5
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間…… 5
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間…… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書…… 7
（４）継続企業の前提に関する注記…… 8
（５）セグメント情報等…… 8
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記…… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から徐々に持ち直しつつあるものの、欧州の金融不安を背景とした円高の進行等により、先行きの不透明な状況が続きました。

このような状況の下、不動産事業では、第１四半期に引き続き新宿区の駐車場並びに港区西麻布及び世田谷区代沢のテナントビルの安定した賃料収入を確保することができましたが、新たに販売用不動産を売却するには至りませんでした。その結果、売上高は前年同四半期に比べ55.0％減少し１億１千６百万円、営業利益は前年同四半期に比べ7.9％減少し８千８百万円となりました。

繊維事業では、盛夏物の綿レースの受注が好調だったものの秋冬物の受注が伸び悩んだため、売上高は前年同四半期に比べ4.2％減少し２千万円となりました。一方、営業損失はコスト削減に努めた結果、前年同四半期に比べ５百万円縮小し３百万円となりました。

化粧品事業では、ドラッグストアやバラエティショップ向けのヒット商品などＯＥＭの新規受注が増加した結果、売上高は前年同四半期に比べ8.8％増加し１億６千４百万円となりました。また、営業利益は４百万円となりました（前年同四半期は営業損失５百万円）。

ゴルフ場事業では、平成22年10月１日に伊豆スカイラインカントリー株式会社を連結子会社化し、同社が経営する伊豆スカイラインカントリー倶楽部は、コースのメンテナンスに力を入れ各種ゴルフコンペの企画も充実させ集客に努めました。その結果、平成23年４月は東日本大震災の影響を受け来場者数が伸び悩んだものの、５月以降の来場者数は回復することができ、売上高は１億６千６百万円、営業利益は１千８百万円となりました。

以上の結果、当社グループの当第２四半期連結累計期間の売上高は４億６千７百万円（前年同四半期比8.4％増）、営業利益は３千２百万円（前年同四半期比742.7％増）、経常利益は６千万円（前年同四半期比72.0％増）、四半期純利益は５千万円（前年同四半期比80.3％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、たな卸資産の増加などにより前連結会計年度末と比較して１千７百万円増加し、40億９千６百万円となりました。負債は、短期借入金の減少などにより前連結会計年度末と比較して３千４百万円減少し、７億２千３百万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末と比較して５千２百万円増加し、33億７千３百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ４億４千６百万円減少し、当第２四半期連結会計期間末残高は４億３千９百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、８千６百万円（前年同四半期は１億１千４百万円の獲得）となりました。これは、主に売上債権の減少や利息及び配当金の受取りによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、５億円（前年同四半期は６百万円の獲得）となりました。これは、主に貸付けによる支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、３千２百万円（前年同四半期の使用額は僅少）となりました。これは、主に借入金の返済による支出によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間の業績は期初の予想に比べ好調に推移し、平成23年10月27日に業績予想の上方修正を行っております。

通期の業績予想につきましては、平成23年５月13日に公表した業績予想を変更しておりません。業績予想に修正が生じた場合は、判明次第速やかに情報開示いたします。

２．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	885,609	439,241
受取手形及び売掛金	100,914	83,811
商品及び製品	16,067	12,581
仕掛品	2,094	2,588
原材料及び貯蔵品	36,938	41,460
販売用不動産	299,624	300,844
短期貸付金	313,026	806,194
その他	13,905	15,115
貸倒引当金	△9,296	△9,255
流動資産合計	1,658,884	1,692,581
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	298,001	284,436
機械装置及び運搬具（純額）	32,701	35,781
工具、器具及び備品（純額）	10,618	9,122
コース勘定	362,224	362,224
土地	1,557,184	1,557,184
有形固定資産合計	2,260,730	2,248,748
無形固定資産		
のれん	21,064	18,724
借地権	129,024	129,024
電話加入権	2,086	2,086
ソフトウエア	102	574
無形固定資産合計	152,277	150,409
投資その他の資産		
投資有価証券	600	600
その他	14,113	12,874
貸倒引当金	△7,141	△8,635
投資その他の資産合計	7,571	4,838
固定資産合計	2,420,579	2,403,996
資産合計	4,079,463	4,096,578

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	22,035	20,210
短期借入金	35,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	5,004	5,004
未払法人税等	10,374	6,915
未払金	19,180	22,266
その他	48,814	51,985
流動負債合計	140,408	111,382
固定負債		
長期借入金	39,992	37,490
資産除去債務	2,665	2,696
再評価に係る繰延税金負債	53,545	53,545
長期預り金	488,628	479,328
その他	32,993	38,831
固定負債合計	617,825	611,892
負債合計	758,234	723,275
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,224,825	3,224,825
利益剰余金	△208,392	△157,564
自己株式	△2,022	△2,049
株主資本合計	3,014,411	3,065,212
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	78,665	78,665
その他の包括利益累計額合計	78,665	78,665
少数株主持分	228,152	229,425
純資産合計	3,321,229	3,373,303
負債純資産合計	4,079,463	4,096,578

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	431,584	467,669
売上原価	285,422	279,059
売上総利益	146,162	188,610
販売費及び一般管理費	142,283	155,927
営業利益	3,878	32,683
営業外収益		
受取利息	28,590	25,828
受取配当金	10	12
その他	5,564	5,225
営業外収益合計	34,165	31,065
営業外費用		
支払利息	－	560
減価償却費	850	1,331
有償見本費用	1,677	996
その他	348	359
営業外費用合計	2,876	3,247
経常利益	35,167	60,500
特別利益		
負ののれん発生益	－	1,218
固定資産売却益	－	419
貸倒引当金戻入額	557	－
特別利益合計	557	1,637
特別損失		
前期損益修正損	831	－
投資有価証券評価損	1,297	－
事務所移転費用	700	－
固定資産除却損	1,830	98
減損損失	840	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	186	－
特別損失合計	5,685	98
税金等調整前四半期純利益	30,039	62,039
法人税、住民税及び事業税	2,181	3,281
法人税等調整額	△340	939
法人税等合計	1,841	4,220
少数株主損益調整前四半期純利益	28,198	57,819
少数株主利益	－	6,991
四半期純利益	28,198	50,828

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	28,198	57,819
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	－	－
四半期包括利益	28,198	57,819
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,198	50,828
少数株主に係る四半期包括利益	－	6,991

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	30,039	62,039
減価償却費	14,803	21,273
のれん償却額	－	2,340
減損損失	840	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△9,266	1,453
受取利息及び受取配当金	△28,601	△25,840
長期前払費用償却額	2,479	2,479
有形固定資産売却損益（△は益）	－	△419
有形固定資産除却損	551	98
無形固定資産除却損	1,279	－
投資有価証券評価損益（△は益）	1,297	－
負ののれん発生益	－	△1,218
売上債権の増減額（△は増加）	56,516	17,103
たな卸資産の増減額（△は増加）	51,386	△2,750
仕入債務の増減額（△は減少）	△25,523	△1,824
未払消費税等の増減額（△は減少）	△6,479	5,157
長期預り金の増減額（△は減少）	△395	△9,300
その他の資産の増減額（△は増加）	2,748	△6
その他の負債の増減額（△は減少）	△3,593	△1,357
小計	88,080	69,230
利息及び配当金の受取額	26,007	23,396
法人税等の支払額	△470	△5,736
法人税等の還付額	443	－
営業活動によるキャッシュ・フロー	114,061	86,890
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△950	△2,745
有形固定資産の売却による収入	－	419
無形固定資産の取得による支出	－	△550
投資有価証券の売却による収入	250	－
子会社株式の取得による支出	－	△4,500
貸付けによる支出	△32,485	△500,000
貸付金の回収による収入	38,232	6,832
差入保証金の差入による支出	△300	－
差入保証金の回収による収入	1,970	－
出資金の払込による支出	△30	－
その他	30	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,717	△500,544
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の返済による支出	－	△32,502
リース債務の返済による支出	－	△184
自己株式の取得による支出	△1	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1	△32,713
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	120,777	△446,367
現金及び現金同等物の期首残高	700,942	885,609
現金及び現金同等物の四半期末残高	821,720	439,241

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	不動産（千円）	繊維（千円）	化粧品（千円）	ゴルフ場（千円）	合計（千円）
売上高					
外部顧客への売上高	259,193	20,890	151,501	－	431,584
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	259,193	20,890	151,501	－	431,584
セグメント利益又は損失（△）	95,922	△8,135	△5,249	－	82,537

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	82,537
全社費用（注）	△78,659
四半期連結損益計算書の営業利益	3,878

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告セグメントに係る該当事項はありません。なお、当第２四半期連結累計期間において、特別損失に計上しております減損損失840千円は、いずれの報告セグメントにも配分されていない遊休資産に係るものであります。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	不動産（千円）	繊維（千円）	化粧品（千円）	ゴルフ場（千円）	合計（千円）
売上高					
外部顧客への売上高	116,595	20,003	164,847	166,223	467,669
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	272	－	272
計	116,595	20,003	165,119	166,223	467,942
セグメント利益又は損失（△）	88,357	△3,054	4,898	18,398	108,599

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	108,599
のれんの償却額	△2,340
全社費用（注）	△73,575
四半期連結損益計算書の営業利益	32,683

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、平成22年10月１日に伊豆スカイラインカントリー株式会社を子会社化し、ゴルフ場事業に進出いたしました。そのため、前第２四半期連結累計期間では、「不動産」、「繊維」及び「化粧品」の３つを報告セグメントとしておりましたが、当第２四半期連結累計期間では上記に「ゴルフ場」を加えた４つを報告セグメントとしております。

４．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。